



## 『 女性とタバコ 』

---

タバコを吸うことにより、癌をはじめ様々な病気が起こりやすくなることが知られています。タバコの煙にニコチンをはじめたくさんの有害な物質が含まれているためです。

またタバコは薬の効果にも影響を及ぼすことがあり、タバコの影響に苦しむ人は少なくありません。

さらに女性にとってタバコは特に大敵です。もともと女性はニコチンに対して依存を起こしやすいとされ、タバコの害を受けやすいのです。それに加え妊娠中や授乳中のタバコは赤ちゃんに影響し、発育が悪くなります。そのため若い女性のタバコは特に問題となるのですが、喫煙率はなかなか減りません。

タバコを吸う人がまわりにいることは、受動喫煙といってタバコを吸っていない人にも知らず知らず影響します。特に子供のそばにいることの多い母親の喫煙は、子供に影響しやすいことが知られています。もちろん、タバコは皮膚の老化を促進するため、美容にも大敵です。

つまり女性は特にタバコに注意する必要があるといえます。



鹿児島厚生連病院

薬剤科長 田中 和子